



令和4年度北上小学校 校長室の窓から

北上をわたる風

【目指す児童像】

- 思いやる子ども
- よく考える子ども
- きたえる子ども

令和4年10月20日（木） No. 6 石巻市立北上小学校 校長 伊藤 礼子

今年度も折り返しです

10月も半ばを過ぎ、日中でも肌寒さを感じる季節になりました。学校では年度の後半を迎えました。先日の教育相談には、保護者の皆様においでいただきありがとうございました。今年度から、児童・ご家庭・学校の三者で同じ方向を向いて、お子さんの学力向上と心身の成長を一層強く支えていくために「三者面談」の形をとりました。学校では、「自分から進んで学ぶこと」「友達との学び合いを通して学ぶこと」が重要になっています。日々変わっていく社会を生き抜く力を身に付けていけるよう、お子さんへの励ましをどうぞよろしくお願いいたします。



現在の子供たちの目標は10月29日（土）に迫った学芸会です。教室や体育館から学芸会に向けた練習の声が聞こえてきます。今年度の学芸会は、新型コロナウイルス感染対策は行いながらも、入場制限は設けず、ご家族の方に子供たちの頑張りの様子を間近に見ていただきたいと考えています。（会場内があまり密になるような場合は、譲り合いにご協力ください。）

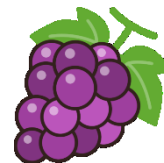
子供たちの名演技をお楽しみに！

【朝会(10/4)のお話(要旨)】

先日、出張で山形県の小学校の授業を見ました。どのクラスも、自分は何が分かって、何が分からないか、別の言葉で言うと「振り返り」を大切にしながら勉強していました。（9月末に）みなさんは「通信表」をもらいましたね。「よくできた」の数を喜ぶのもよいのですが、もっと大切なのは「振り返り」です。自分は何ができて、何をこれから頑張るのかを確認することです。

（10月初めの）「教育相談」では、これから頑張るところをおうちの方にもサポートしてもらい、もっと勉強が分かるように、もっと学校が楽しくなるように、そしてぐんぐん成長していけるように先生とみなさんとおうちの方でお話します。苦手なことがあることは、悪いことでも恥ずかしいことでもありません。1年の後半に入るこの時期に、自分の「振り返り」をして頑張る目標をたて、大きく成長できるようにしてください。先生たちもお手伝いをします。

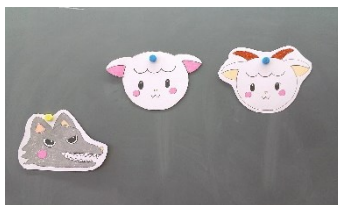
北上っ子一人一人が「よく考える子」に、そして、苦手なことから逃げたい自分の心に負けない「きたえる子」になってください。



学芸会に向けて頑張っています



広い体育館に響く声を出すのは、なかなか大変です。



お面や小道具ができてくると、気持ちも高まります。



教室でダンスの練習。指先までびんとするのが、かっこよさの秘訣！

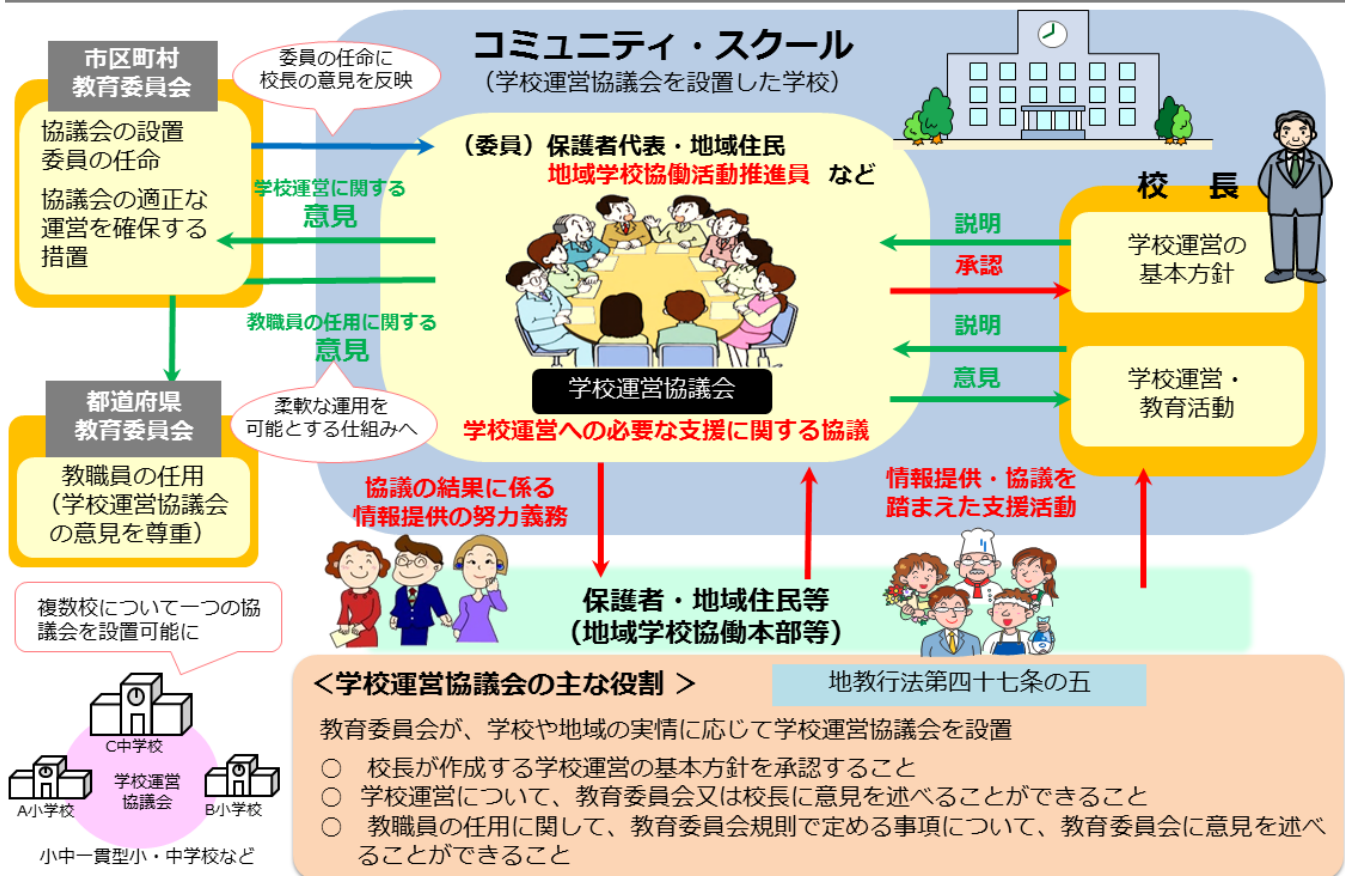
令和5年度から「コミュニティ・スクール」が導入されます

石巻市では、令和6年度までに、すべての小中学校で「コミュニティ・スクール」が導入されます。北上小学校では、北上中学校と合同で「学校運営協議会」をもち、令和5年度からコミュニティ・スクールとなることが決まっています。職員は8月末に説明を受け、学校運営協議会設置に向けた準備を始めたところです。

コミュニティ・スクールとは、地域の皆様（児童生徒のいない家庭も含めて）に学校の応援団になっていただき、地域と共に持続的に子供たちを育てていくための仕組みです。12月には、保護者を対象とした説明会を実施する予定です。（地域の方にもご参加いただきたいと考えています。）

今後、学校からも情報を発信していきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



※ 文部科学省ホームページより



読書の秋です！



メディアセンターの階段は、読書スペースにもなります。



休み時間には司書の伏見先生に本を読んでもらう人もいます。



本を借りる人で大賑わい。今の人気は「ドラえもん」の学習まんが。